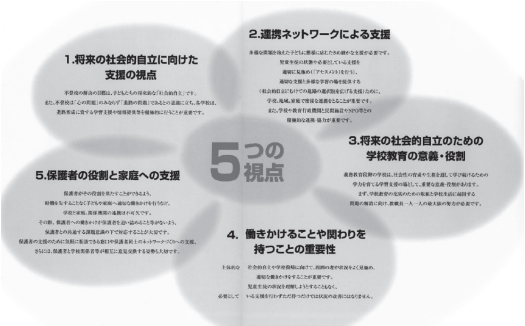
問 不登校生徒減少のため事業見直し

答 自立につながる支援を検討する

新政とうかい　吉田　充宏　議員

問　本村中学校の不登校生徒は全国平均より高い。事業の発展的見直しが必要である。また、不登校生徒への学習はタブレットの活用や不登校生徒を対象とした学習塾を親へ紹介することもできるが、学習の考え方を伺う。

答　教育支援センターを中心に学校現場と連携しながら取組んできたが、指摘のとおり発達支援センター、村スクールカウンセラー等関係者を交えて、自立につながる支援を検討する。また、学習方法は、前向きに検討する。



不登校生徒への対応に当たっては5つの視点が重要
＊文科省の不登校への対応について（パンフレット）より

問 交流館の情報を探しやすくする

答 トップページにバナーを設置

問　村ホームページで歴史と未来の交流館の情報が探せない。トップページに交流館のバナーを設け、村民の目を引く工夫が必要である。また、石神城址の県指定の働きかけと整備計画について伺う。

答　トップページにバナーを設けるなど、掲載に当たっては提案内容を参考に工夫する。石神城址の県指定の申請が終了した。また、整備基本計画の策定を検討する。

問 保育所延長料金の納入方法改善を

答 納入しやすい方法を検討

新政とうかい　新垣　麻依子　議員

問　子育て支援の取り組みは。

答　相談支援を行う拠点として「東海村子育て世代包括支援センター（はぐくみ）」を設置。母子健康手帳の発行時に面談を行い、必要に応じてケアプランを作成するなどの支援提供を図っている。取り組みとしては、乳児家庭全戸訪問、子育てアドバイザーの派遣や産前・産後ヘルプサポート事業によるヘルパー派遣、産後ママあんしんケア事業を実施。また、公立・私立の保育所、認定子ども園等に地域子育て支援拠点を設け、子育て家庭の交流や育児相談、情報提供等を実施している。村松宿こども園に地域子育て支援コーディネーターを配置して個別相談にも対応している。

問　現在の公立保育所の延長料金は、所定の金融機関の窓口で1週間以内に納付することとなっているが、家庭によっては困難。納入方法の改善が必要ではないか。

答　保育料と一緒に口座振替で支払いができるようにするなど、納入しやすいような方法を検討していく。

延長料支払い方法の改善が求められる